

保護者等からの 児童発達支援評価表の集計結果（公表）

公表：令和4年3月23日

事業所名：鎌ヶ谷市こども発達センター

保護者数（児童数）35名 回収数27枚 割合77.142%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	未 回答
1	環境・ 体制 整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	4		2	
		② 職員の配置数や専門性は適切であるか	24	1		2	
		③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	23	3		1	
		④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	26	1			
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	未 回答
2	適切な 支援の 提供	① 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画</u> が作成されているか	26			1	
		② 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	26			1	
		③ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	26			1	
		④ <u>活動プログラム</u> が固定化しないよう工夫されているか	21	4		2	
		⑤ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	5	6	8	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	未 回答
3	保護者 への説 明等	① 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26	1			
		② 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	26	1			
		③ 保護者に対して家族支援プログラム（ <u>ペアレント・トレーニング</u> 等）が行われているか	19	4	1	2	1
		④ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	26	1			

	⑤	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24	3			
	⑥	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	17	4	3	3	
	⑦	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	22	4	1		
	⑧	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	25	1	1		
	⑨	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	18	1		8	
	⑩	個人情報の取扱いに十分注意されているか	22	1	2	2	
4 非常時等の対応		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	未回答
	①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	18	2		6	1
	②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	2		7	1
5 満足度		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	未回答
	①	子どもは通所を楽しみにしているか	22	3		1	1
	②	事業所の支援に満足しているか	25	1			1

1ー③「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

2ー①「児童発達支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

2ー④「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

3ー③「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

保護者等からの 児童発達支援評価表の集計結果（公表）

頂いたご意見への回答		
1 環境・体制整備	①意見	《子どもの活動スペースについて》 ・クラスによっては人数の多いクラスもあり、狭く感じることもある。
	回答	・法令を遵守したスペースは確保しておりますが、コロナウイルス感染対策として部屋のスペースに対して定員を制限しております。今年度は、途中で人数が増えたクラスがありましたので、各部屋の定員を踏まえ年度の途中ではありましたが、全体的に部屋の移動をさせていただきました。登園人数や活動内容により、狭く感じることもあると思いますが、密にならないように登園人数や活動内容を考慮して療育を行っております。
2 適切な支援の提供	③④意見	《活動プログラムについて》 ・体力のある子は距離をのばす、回数を増やす、工作はちぎるだけでなく、できる子はハサミを使うなど子どもの状況に合わせて工夫して欲しい。 ・細かい部分は変わっているかもしれないが、同じような活動が多いと思う。繰り返しは大事だと思うが、新しいプログラムも取り入れてほしい。
	回答	・ご指摘いただいた点を参考に、それぞれのグループや一人ひとりの発達や特性を考慮し、お子さんが主体的に課題に取り組めるようプログラムを工夫し提供していきます。
	⑤意見	《保育所、幼稚園等の交流について》 ・コロナで交流保育が中止となることはやむを得ないが、終息した場合以前のように交流保育を実施して欲しい。
	回答	・交流保育に関しましては、当初春から定期的に行えるよう保育園と相談しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、実施を見合わせるようになりましたが、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が解除になったタイミングで急遽保育園と相談し、回数は少なくなりましたが実施することができました。新型コロナウイルス感染症の対応に関しましては、国、県、市からの要請と相手方の保育園の意向もあり、中止となる場合もあります。今後も動向を見ながら交流保育の日程の調整を行い実施につきましては、参加の機会が増えるように予備日を設定する等、交流する保育園とも相談していきます。
3 保護者への説明	③意見	《家族支援プログラムについて》 ・家族支援プログラムがどのような取り組みなのか分かりづらい。
	回答	・今年度は1日療育クラスでは親子通園日に、もも・すいかクラスに関しましては、プリントで理学療法士から靴の選び方について話をさせていただきました。また、親子通園日には、療育で実施しております内容や声掛け、関わり方を具体的にお伝えしたり、説明をすることも、ペアレントトレーニングの一つだと思っております。今後も丁寧な説明を心がけていくとともに、今後も引き続き年2～3回定期的の実施していきます。
	④意見	《保護者との共通理解について》 ・親の思い、子供の状況の認識にズレがなく共有できている。
	回答	・今後も保護者の方とのびのびルームで話をする機会を持ち、お子さんにとってより良い支援が出来るように、一緒に考えていけたらと思います。

	⑥ 意見	《保護者同士の連携支援について》 ・コロナ禍において、保護者同士の連携を図ることは難しいが、工夫していきたい。
	回答	・新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、思うように行事や保護者同士の連携が出来ない中、いろいろと工夫をして活動をしていただき、ありがとうございます。今後も活動するにあたり何かありましたら、ご相談をしていただけたらと思います。
	⑦ 意見	《保護者からの相談について》 ・相談・中入れの際に、場当たりの対応を受けました。私達利用者は専門的な知識がないので、面談には心の準備が必要だということを理解して欲しい。 ・困ったときに親身になってきてくれた。とても早い適切な対応をしてもらい、沢山私達のために動いてくれた。 ・子どもが温かいごはんしか食べないことを話すとごはんの日は、温めて下さる等対応して下さり、感謝している。
	回答	・保護者からのご相談には、今後も真摯に対応できるよう努めてまいります。
	⑩ 意見	《個人情報の取り扱いについて》 ・個人情報の漏洩、プライバシーの侵害があり、障害を持つ親として悲しい気持ちになった。
	回答	・個人情報の取り扱いには、細心の注意を払っておりましたが、こちらの注意が足りず不快な思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。今後は、個人情報の漏洩が無いよう引き続き気を引き締めて対応をして参りたいと思います。
4 非常時等の対応	① ② 意見	《緊急時対応、感染症対応等について》 ・十分周知がされていない気がする。
	回答	・非常時等の対応に関しましては、マニュアルに基づき様々な発生を想定した訓練を実施しておりますが、今後保護者の皆様への周知方法を検討していきます。
5 満足度	① 意見	《子どもの満足度について》 ・毎日楽しみにしています！先生方、いつもありがとうございます。 ・前日になると明日は何をするか聞いてくれるくらい楽しみにしている。
	回答	・今後も子どもたちが楽しく過ごせるよう、職員一同努力してまいります。
	② 意見	《事業所の支援について》 ・感謝しかありません。とても成長しています。いつもありがとうございます。 ・通所料を自動引き落としも選択できるようにして欲しい。
	回答	・子どもたちが笑顔で元気に通所でき、保護者の方が安心して子育てができるよう、今後も保護者の皆様と協力してまいります。 ・利用料、給食費の納付に関しましては、ご不便をおかけしており申し訳ありません。銀行と調整した結果、のびのびルームの在籍人数が少ないため、口座振替の対応が出来ないとの回答を得ています。ご理解いただきたいと思います。

事業所職員からの 児童発達支援自己評価表の集計結果（公表）

公表：令和4年3月23日

事業所名：鎌ヶ谷市こども発達センター

職員数29名 回収数29枚 割合100%

		チェック項目	はい	いいえ	未回答
1 環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	28		1
	②	職員の配置数は適切であるか	28		1
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	25	2	2
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	28		1
2 業務改善	①	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	22	3	4
	②	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	27		2
	③	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	27		2
	④	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	14	9	6
	⑤	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	28	1	
3 適切な支援の提供	①	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	25	1	3
	②	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	19	2	8
	③	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	23	1	5
	④	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	28		1
	⑤	活動プログラムの立案をチームで行っているか	26		3
	⑥	活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	27		2
	⑦	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	25	1	3
	⑧	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	29		
	⑨	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	26		3
	⑩	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	26	1	2
	⑪	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	28		1

4	関係機関や保護者との連携	①	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	27		2
		②	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	27		2
		③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	27		2
		④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	26	1	2
		⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	27		2
		⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	27		2
		⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	19	6	4
		⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	23	4	2
		⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	14	9	6
		⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	27		2
5	保護者への説明責任等	⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	22	3	4
		①	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	28		1
		②	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	26		3
		③	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	28		1
		④	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	27		2
		⑤	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	24	1	4
		⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	27		2
		⑦	個人情報の取扱いに十分注意しているか	27	1	1
		⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	27		2
		⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	17	5

6 非常時等の対応	①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	26		3
	②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	26		3
	③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	26		3
	④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	26		3
	⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	25	2	2
	⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	24	2	3
	⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	23	1	5